

断したので、建設課の承諾を得るため、[]、[]に来庁要請)

土採取の変更(区域・工法・工期等)届の提出を約束したのに、未だ提出されていないが、なぜなのか?一図面を書ける者がいない。等々相変らずの対応

少なくとも土採取の変更届(図面は後日でも可)を明日提出することを条件に現地立会いを行い、施工を認めるか否かを決めることにした。

平成 23 年 7 月 12 日 現地立会い

先方: []、[]、[]

当方: []・[]・[]・[]・[]・[]

[]は防災工事を行い、結果的に本件埋立てを終了したいと考えている。[]の行った後始末を行うつもりはないとのことであった。場合によっては、現況法面の再成形もありうる。それに対して、建設課は現況の補修が原則と互いに譲らず平行線を辿ったが、結果的には書面を三者([]・[]・熱海市)で交わしてから作業することとなった。再下段の沈砂池の浚渫、小段及び縦排水施設の設置、法の再成形、緑化等を書面に記載する。下段から 3 段程度完成したら中間検査を行うこととした。

平成 23 年 7 月 13 日 熱土 []より風致違反事例を借りる。

同日 現地調査 []の車確認、日金町の重機が搬入されていた。最下段沈砂池の浚渫作業しているのを確認した。

平成 23 年 7 月 14 日 []から電話連絡

浚渫の範囲及び深さはどこまでやるのか質問を受ける。建設課に連絡し、[]が現場に向かう。

平成 23 年 7 月 19 日 雨天ハトロール 調圧槽から []に搬出した土砂の跡地(法)まで土側溝が造られていた。神社線上の逢初川微妙な色?(雨天に付問題ない色)、伊豆山港は濁りなし

平成 23 年 7 月 20 日 雨天ハトロール 霧でよく見えないが異常なしと思われる。神社線上やや濁るが昨日と同様で問題なし。

平成 23 年 7 月 21 日 行政指導文書 熱建まち第 155 号 []に手交

同日 現地調査 法面異常なし 作業はしていない。

平成 23 年 7 月 27 日 現地調査 重機が下から 3 段目付近にあった。法面を叩いた跡があったが作業はしていない。

平成 23 年 8 月 9 日 現地調査 最上段に重機があった。(法面成形は終わったようにも思われるが、建設課の判断を待つことにする。)法面排水はポリ管等を入れる約束であったが…、土側溝、防災小堤の施行に留まっていた。

C工区入口(井上邸)で草刈(主にヤシャブシ伐採)をしていた。[]及び[]の車両 3 台確認した。両者共湯河原の []と思われる。

同日 []来庁

- ・ 毎日現場に行っている。(他の仕事が手につかない。)
- ・ 5日に []に対し []が施工方法等を説明して理解を得た。
- ・ 建設課も現地立会いを何度かしている。3段目までは、検査済と思っている。板柵水路(縦排水)も施工済である。
- ・ 昨日健福も現場を確認しに来ていた。
- ・ 今日樹の設置を予定していたが、作業員が来なかったため(資金的なもの?)明日以降に順延した。
- ・ ほぼ完成しているので、8月後半にはC工区横のCoガラの撤去を始めたいと言っている。(重機は今と違う物を考えているようだ。)
- ・ 調圧槽前の残土はC工区側へ段切施工後に盛土処理を行う予定であり、 []も了承している。(建設課は同意しているかは不明である。)

平成 23 年 8 月 19 日 現地調査 []が調圧槽前の残土を法面成形作業中に話を聞いた。暫くする